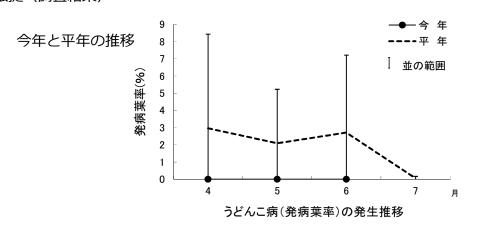
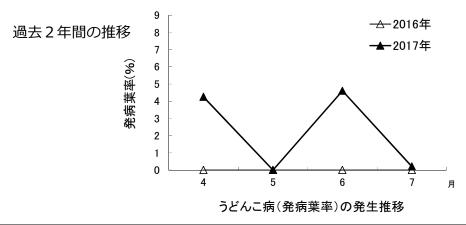
作物	オクラ		地域	宮古群島	
病害虫名	① うどんこ病				
6 月の発生量(現況)		(発生なし)並			
7 月の増減傾向		7			
増減傾向の根拠		発病葉率の平年の発生推移から、6月より発生量は減少すると考えられる。			

## 発生量の根拠(調査結果)





## 防除のポイント

- ・下位の罹病株や残葉は早めに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

平成 30 年度				
作物	オクラ		地域	宮古群島
病害虫名	② フタテンミ			
6	月の発生量 (現況)	(発生なし)並		
7	月の増減傾向	7		
	増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推 増加すると考えられる。	-  移から、6	月より発生量は
発生量の根	処(調査結果)			
	今年と平年の推移 (業/監)桑田 <b>6</b> 粒	10		Л
	過去2年間の推移 (無/窓)蒸缶(など	10		

## 防除のポイント

・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

フタテンミドリヒメヨコバイ(成幼虫)の発生推移

・収穫残さは発生源になるため、早めに片付ける。

平成 30 年度					
作物	オクラ			地域	宮古群島
病害虫名	③ アブラムシ	类	Į	人拉	
6 月の発生量(現況)			(発生なし)並	7	
7 月の増減傾向			7		
	増減傾向の根拠		成虫・幼虫数の平年の発生推減少すると考えられる。	移から、6	月より発生量は
発生量の根拠	処(調査結果)		!		
	今年と平年の推移 (無/臨)蒸田 (新/路) ※田 「報/部)	2		<u>-</u> ◆- 今 平 「 並の範	
	<b>报</b>	0	4 5 6 アフ <sup>*</sup> ラムシ類(成幼虫)の発生	<del>~~~~~~</del> 7 生推移	 月
	過去2年間の推移 ( <mark></mark> 搬	4		<del>-△-</del> 2016年 <del>-▲-</del> 2017年	
	成幼虫数(頭/葉)	2			

## 防除のポイント

・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。

5

アブラムシ類(成幼虫)の発生推移

0

・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。